

講演会「災害時に生きる！地域支え合いのチカラ」

実施報告

1. 日 時

平成30年2月9日（金）

13時30分-15時00分

2. 場 所

流山市文化会館（市民会館ホール）

3. 来場者

一般市民

自治会関係者

自主防災組織リーダー

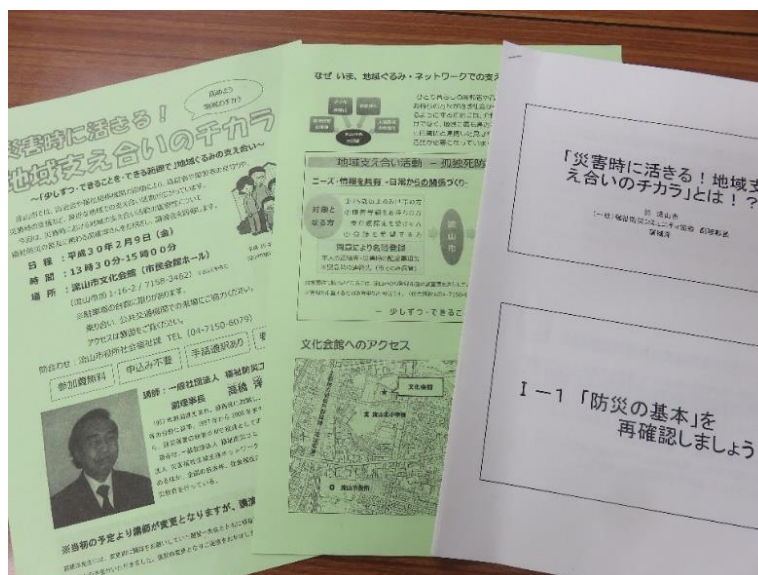
民生委員・児童委員

地域福祉関係者 など 約180名

4. 概要

平成30年2月9日（金曜日）、地域福祉と地域防災を考える機会として、流山市文化会館で講演会「災害時に生きる！地域支え合いのチカラ」が開催されました。

流山市では、自治会や関係機関の協働により、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方、障害をお持ちの方などに対し、孤独死防止と災害への備えとして「地域支え合い活動」を行っています。





より多くの方々が日頃の支え合い活動と防災について理解し、地域ぐるみで取り組むことが、いつ起きるか分からない災害への大きな備えとなります。そこで、地域のチカラをさらに高めるための具体的取組として、本講演会を開催しました。

講師には一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 副理事長 高橋洋氏をお招きし、当日は一般市民の方をはじめ、自治会関係者、自主防災組織リーダー、民生委員・児童委員、地域福祉関係者など、約180名の方にお越しいただきました。

高橋先生からは、まず、これまでの大規模災害での被害や流山市の状況を踏まえて、公助の重要性が説明されました。その後、各地域での支え合いや見守りの活動事例が紹介され、来場者の方も一緒に具体的な取組みについて考えました。

終了後のアンケートでは「地域の防災を他人事と考えず、皆が我が事のように受け止め、活動を始める事が一番大切だと考えています。」「地域での支え合い活動と防災が密接につながっていることを勉強することが出来ました。」といった感想をいただきました。



まだ協定を結んでいない自治会にも、この機会に地域ぐるみの支え合いについてお考えいただき、取り組みへのご協力をお願いします。

※支援の内容は自治会等によって異なります。